

SRcomm いよいよ発売 !

セイフティレコーダ・コミュニケーション

『セイフティレコーダ』がバージョンアップしました



SRcomm 本体

- ・通信機能と一体化
リアルタイムに安全状況、運行状況を確認できます
- ・さらにコンパクトに
カーオーディオと同じ1DINサイズ
- ・エリアイベント検出機能
一時停止をしたか? などわかります



データ加工・分析の現場から

エコロコーポレーション 古田 雅宣

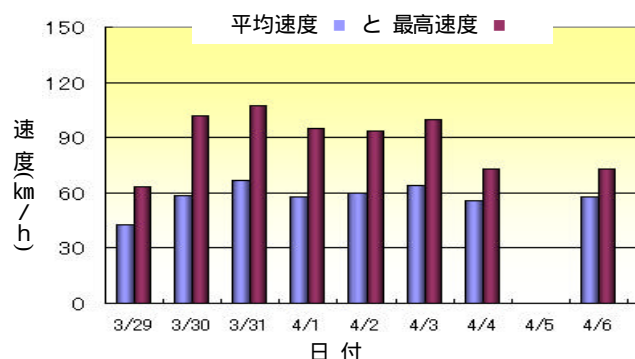
「インフォグラフィックス」で運行状況をよりわかり易く・・・

インフォグラフィックスとは、言葉では説明しにくい情報を視覚的に伝達する図のことを言い、近年、新聞・雑誌では文字や写真では伝えきれない事柄をグラフィックスで視覚化することでニュースを分かりやすく伝える役割を担っています。近年多くのスペースを割くようになりました。

そこで今回はインフォグラフィックスのひとつ、グラフを使い運行データの加工に一役買ってもらう事に・・・
グラフの特長は、数字の意味する大きい、小さい、多い、少ないを図にして表現するので数値の増減(変化)が一目でわかるという便利さあります。

日付	走行距離	平均速度	最高速度
2003/3/29	15.934	42.9	63.2
2003/3/30	843.137	58.4	101.6
2003/3/31	701.242	66.4	107.3
2003/4/1	731.789	57.5	95
2003/4/2	371.568	59.9	93.8
2003/4/3	633.293	64.3	99.7
2003/4/4	245.829	55.8	73.2
2003/4/6	200.703	58	72.9

数値による情報



インフォグラフィックによる情報

データをグラフで表すと異常の状況や比較による違いが一目瞭然にわかります

セイフティレコーダでの取得運行データはエクセル CSV ファイルへ変換・保存できるためグラフへの置き換えは簡単に行なえます。運行データを目的に応じグラフ化することで**感覚・感触**から**数値**データへ更に**視覚**へと誰が見ても分かる情報へ変化します。乗務員と話し合うときに都合がいいのではと考えております。

「輸送品質」も見える！

～ 運行安全問題の究極は、現場作業の「品質」に注意 = 目が行き届いていることです～

走行ルールに沿った走行は輸送品質の第一歩です



両サイドで荷捌きが行われている中を、荷捌き指定場所へ移動中



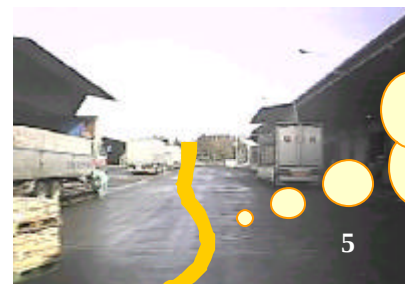
トラックの間からフォークリフトが頭出し！



フォークに2パレット積みで前向き走行、急ブレーキ掛けると危ないな！



フォークリフトは走行指定ラインを走行中



フォークリフトの走行を止め、トラックがフォークリフトを避けながら通過

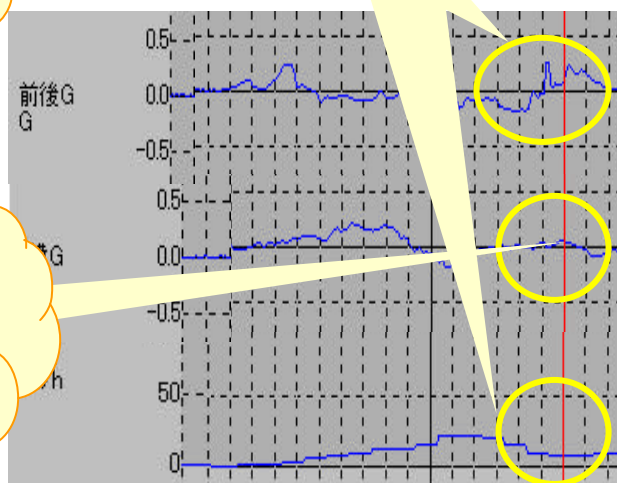
配送センター内でのフォークリフトとトラックの構内ルールは取り決められている。しかし、実際の現場ではどのような運行安全が行われているのでしょうか？

お客様の荷捌き場で、輸送工程上の品質がどのようなものなのか、いちいちチェックは出来ませんが、荷主様の目が光っています。

S R映像機器 (DVR) では、目が行き届かない輸送工程での「現場輸送品質」が見えてきます。

運輸事業に従事されている皆様自身の目で、常日頃から追求していくことで、「輸送品質向上」が体に染み付いてくるのではないのでしょうか。

減速したが、止まらず、再加速



画像の生データを使った実践管理で事故防止に成果！

～SR映像機器（DVR）を100台使用～

事故が絶えず事故予防のことを考えてきておりました。輸送の現場は、会社の外にあるため管理者の目の届かず、危険挙動や運転の仕方、車間距離は充分に取れているかというようなことが判らず不安だけが残る状況にありました。市販のビデオカメラを使って運転状況を捉えてみたり、自社のトラックを見つけると、気づかれないように後から追っかけてみたりといろいろ取り組んで来ました。自分たちでも何か運行状況を見えるようなものが作れないかと工夫もして見ました。

データ・テック社のセーフティレコーダの存在を知り、画像による運行状況の再現が出来るということが判り、これならこれまで求めていた“現場が見える”ことが可能になると判断し採用に踏み切りました。市販のビデオカメラと違って、DVRは異常動作のイベントが起こったところだけを記録しており、再現もその部分だけ検索できるということを評価したわけでありました。ドライバーも個人個人特性がありますが、DVRの映像を眺めることで、ドライバー一人ひとりの性格、適正をはっきり見極めることが出来ます。また、ドライバーは何もなければ10秒前のことでさえ忘れてしまっているのが実情ですから映像で再現して見せることはそのような点からも好都合ということになります。事故を起こしたときには尚更、忘れてしまっていることが多いので、事故原因を追求するにしても、本当のことがわからないことが多々ありましたが、DVRで何が起こったのかわかるようになりました。高速道路で新車の高級外国車に追突をしたときなどは、そのときの映像がDVRで撮られていて、前を走行している車が30Km/時前後で走っていて先方にも非があったということがわかりました。



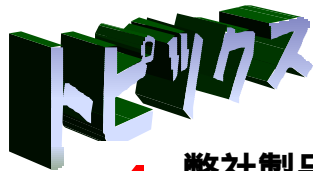
また、SRソフトで集計されるグラフを眺めておりますといつも午前4時頃に波形が乱れるドライバーがいることがわかりました。管理者が毎日午前3：30にドライバーに電話をして停車させているというような生きた事故防止の実践を行っております。

画像再生システム（DVR）を兼ね備えたセーフティレコーダは、全車両につけないと意味がないと考え120台の保有車に対して100台を装着しました。データを分析し、データから問題となることを見つけそこをクローズアップさせ、焦点を絞った教育とDVRを使って実際に取れた映像を見ながら安全講習会を行っております。DVRをつけたことにより、品質改善、事故削減、保険料の低下につながり、投資は利益につながるものであると満足しております。

コーヒーブレイク



- 「割れ窓理論」というのを聞いたことある？
- 自動車を一週間放置しておいたが何も起こらなかったのに、同じ車の窓ガラスを一箇所割って置いてみたら数時間のうちに車の部品や中の荷物が盗まれてしまったというやつで割れた窓を放っておくと犯罪を誘発するということね
- ニューヨークの犯罪が減ったのはこの「割れ窓理論」をもとに対策をうったからだそうだよ。最初の小さな犯罪防止こそが後の犯罪防止につながると、比較的軽い犯罪の取り締まりを徹底させた結果殺人件数が大幅に減るという結果を得たそうだよ。
- 犯罪の防止には、起きた犯罪の犯人を捉えることだけを考えていては駄目だということに気づいたわけだ
- 車の事故にも通じることだね。事故が起こってからの対策だけではだめで毎日毎日の小さな行動のなかに事故の防止に役立つことがあるということだね
- 事故多発の背景にはもともと、職場での社員間の連帯が薄れ、お互いが牽制し合うことが緩んでいることが要因の一つに考えられるね。日々の行動の中に小さな事故を見る目をもたないといけなし、そのような小さな事故に関心を向けるような仲間意識を高めないといいけないということになるね



弊社製品SRcommが“人とくるまのテクノロジー展2003年”に出展いたします。

来る5月21日から23日にパシフィコ横浜・展示ホールで開催される「自動車技術展 人と車のテクノロジー展2003」に当社の新製品“SRcomm”を出展し、デモンストレーションを予定しております。その際 NTTDoCoMo 様のご協力を得て SRcomm を搭載しましたQカーも展示いたします。ご来場をお待ちしております。

出 展 品 紹

・SRcomm

新商品の展示と **実機解析のデモンストレーション** を実施

・SRPDAモニタ

セーフティレコーダのデータを **リアルタイムにPDA** で表示

特 別 展 示

SRcomm を搭載した **Qカー** を展示いたします。
Qカー は NTTDoCoMo 様のご協力により展示いたします



Qカー

講 演 会

5月23日(金) 13:45 ~ 14:15 同会場特設コーナーにて弊社による講演会を行います



イベント掲示板



TEPIA 第15回展示

TEPIA (機械産業記念館) 1階
東京都港区北青山2-8-44

2003/4/9 ~ 2003/7/25

平日 10:00~18:00 土・祝 10:00~17:00

日曜休館

財団法人機械産業事業団

www.tepia.or.jp/15th/gaiyo.html



人と車のテクノロジー展

パシフィコ横浜

2003/5/21 ~ 2003/5/23

10:00~17:00

社団法人自動車技術会

www.jsae.or.jp/02evnt/calender.html

www.pacifico.co.jp/2th/convention/index0905.html

お問合せ先

株式会社 データ・テック 担当 山田 美佳
Tel 03 (5703) 7041 E-mail sales@datatec.co.jp



編集後記

創刊号を編集しているときは、桃の節句、桜のシーズンに第2号、鯉のぼりがたなびく端午の節句に第3号 八十八夜も過ぎました。のんびりと時間が移り行くというような風情ではなく、忙しく一日一日が流れて行きます。今の世は時間がたつのが本当に早いと・・・ 多種多様な事象が身のまわりにたくさん存在していて絶えず変化をしているからなのでしょう。ビジネスにもスピードが勝負と言われる所以を編集の仕事を通して実感しております。(LoMac)